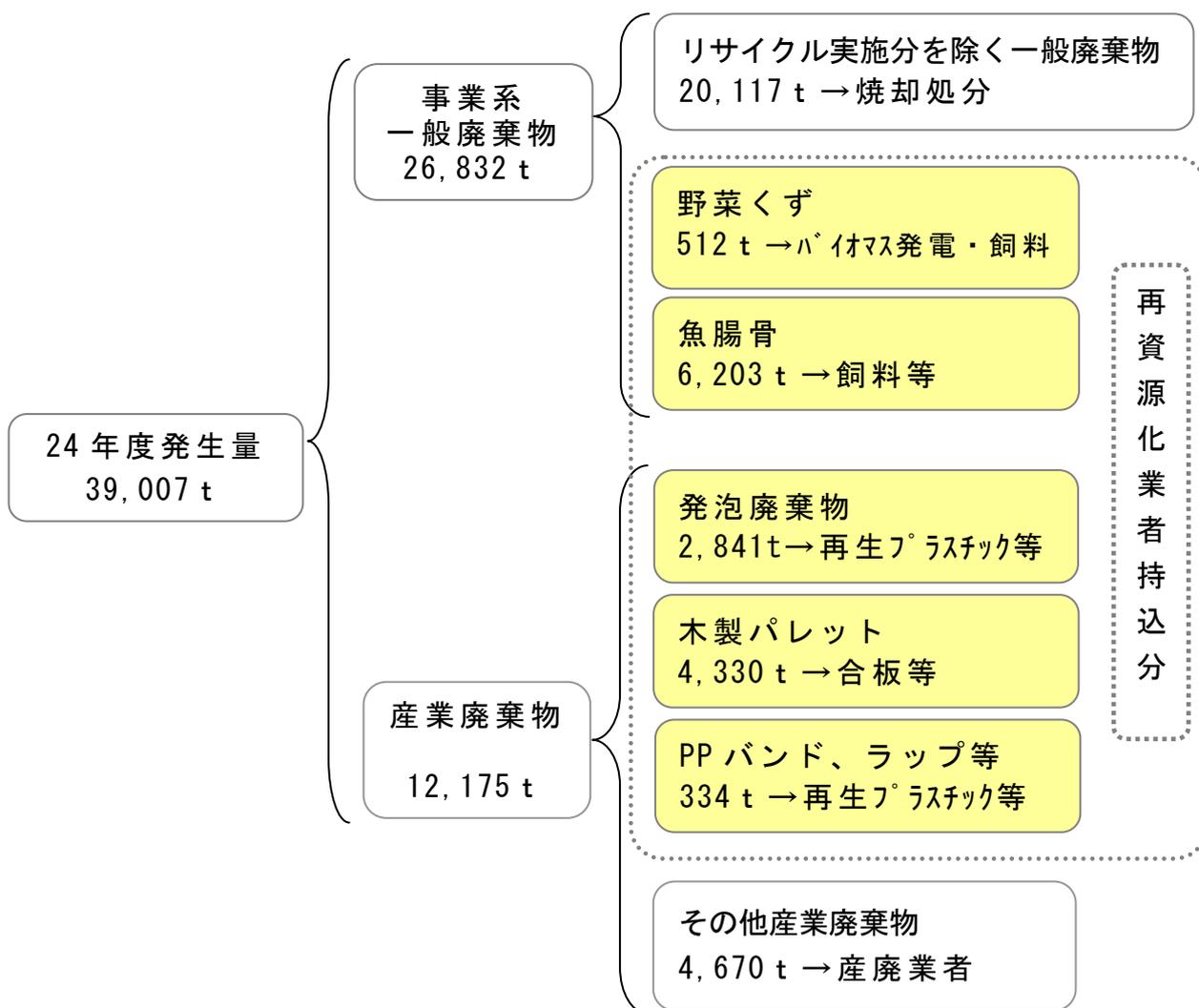


東京都中央卸売市場 廃棄物処理及びリサイクルの現状と課題



○一般廃棄物は26,832トンであり、このうち清掃工場で焼却処分されるごみは全体の約75%、20,117トンです。野菜くずは512トン、魚腸骨は6,203トンが再資源化されています。

○産業廃棄物は12,175トンであり、発泡廃棄物2,841トン、木製パレット4,330トン、場内で分別されたPPバンドやラップ等334トンが再資源化業者に持ち込まれています(その他、段ボールや缶等もほぼ全てが再資源化されています)。これらを除く4,670トンは産業廃棄物処理業者へ持ち込まれ、金属等が分別されて再資源化されたり、サーマルリサイクル(熱回収)されたりしています。

○市場で発生した39,007トンのうち、場内で分別し再資源化業者に持ち込まれているものは、野菜くず、魚腸骨、木製パレット、発泡廃棄物、PPバンド等の14,220トン(全体の約36%)です。今後、ごみの発生量を抑制するとともに、リサイクルの一層の推進を図ることが課題となっています。